

# CORONA FASST 受信機

## (Futaba FASST 互換受信機(ラジコン1和訳))

### 1. 受信機型番

R4FA (4ch/ケース付)、R4FA-S (4ch/ケースなし)  
R6FA (6ch/ケース付)、R6FA-S (6ch/ケースなし)、R6FA-SB (6ch/ケース付/S.BUS対応)  
R8FA (8ch/ケース付)、R8FA-S (8ch/ケースなし)

#### 1.1 対応モジュール:

**Futaba FASST 2.4G Air Systemes(7ch Mode/Multi Mode)**

#### 1.2 仕様:

R4FA : チャンネル数: 4ch/入力電力: 3.6~10.0v/サイズ: 42x21x8mm/重量: 7g  
R4FA-S : チャンネル数: 4ch/入力電力: 3.6~10.0v/サイズ: 39x18x6mm/重量: 4g  
R6FA : チャンネル数: 6ch/入力電力: 4.0~10.0v/サイズ: 48x27x12mm/重量: 11g  
R6FA-S : チャンネル数: 6ch/入力電力: 4.0~10.0v/サイズ: 45x23x8mm/重量: 8g  
R6FA-SB : チャンネル数: 7ch/入力電力: 4.0~10.0v/サイズ: 48x27x12mm/重量: 11g  
※7chがS.BUS差接続chになります。  
R8FA : チャンネル数: 8ch/入力電力: 4.0~10.0v/サイズ: 54x32x14mm/重量: 13g  
R8FA-S : チャンネル数: 8ch/入力電力: 4.0~10.0v/サイズ: 52x30x9mm/重量: 11g

### 2. 設定

チャンネル詳細表



#### 2.1 送信機側の設定:

モード(Mode/Multi Mode)切り替えが必要無くそのままどちらでもご利用できます。

モジュール側で設定する製品に関しては、送信機をPPMに設定してご利用ください。

#### 2.2 バインドの仕方:

- 1) 送信機側の設定が完了している事を確認します。送信機側の電源をONにし、電波を送信状態にします。
- 2) 受信機のボタンを押したままの状態、受信機の電源をONにします。
- 3) 約1秒位してボタンを放します。LEDが緑に変わればバインド(送受信機のリンク)完了です。;
- 4) 緑のLEDが点灯している場合は、バッテリーフェイルセーフが機能していることを表しています。

#### 2.3 LED status:

RED LED	GREEN LED	Mode
Flash	off	No signal
off	solid	Signal good
Flash	solid	Signal lost
Flash	Flash	Set failsafe

◎2、4GHz専用送信機の場合は送信機の方でフェイルセーフができます。

3. PPM利用の送信機の場合は受信機でフェイルセーフを下記の要領で行います。

スロットルのF/Sの位置を決めて、受信機のボタンを(5~6秒)押してから離し、  
緑ランプが点滅している時に再度ボタンを1回押して決定すると、failsafeモードになります。  
(※5~6秒押しても緑ランプが点滅しない場合は再度続けてボタンを5~6秒程度押してください。)  
(そのままテストする意味で、スロットルをフルハイにして送信機のスイッチを切りますと  
サーボだけがF/Sの位置に戻るのを確認します)

3) もう一度バインドをやり直すと、failsafeが取り消されます。

株式会社 JVB RC 事業部 ラジコン1  
TEL : 0942-81-7300